

(2) 指導過程

段階	学習活動・内容	時間	○指導上の留意点 ◇手立て ◎リーディングスキルとの関連 ●評価
課題設定	<p>1 本時の学習課題を捉える。</p> <p>(1) 前時に学習した古語を読む。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 歴史的仮名遣い</li> </ul> <p>(2) 本時の課題を考える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>与一の挑戦は容易か、困難か。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 場面の状況や人物の心情</li> </ul>	7	<p>○ 歴史的仮名遣いや読みにくい部分を読めるようにするために、カードを使ってテンポよく読む。</p> <p>◇ 前時に書いた子どもの感想や疑問を提示し課題につなげることで、主体的に学習に取り組めるようにする。</p> <p>◎ イメージ同定 「扇との間は四十間余り」についてワークシートに図式化してみることで、与一と扇の位置を具体的にイメージできるようにする。</p>
課題解決	<p>2 場面の状況や人物の心情について考える。</p> <p>(1) 場面の状況や与一の心情について考えるための視点を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 時刻、天候</li> <li>・ 周囲の様子（対句表現）</li> <li>・ 祈念する与一の姿</li> </ul> <p>(2) 自分の考えをワークシートに書く。</p> <p>3 全体で交流し、自分の読みを深める。</p> <p>(1) 与一の困難さが強く感じられる点について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「酉の刻」「北風激しくて」「舟は揺り上げ～」 →視界が悪く、扇が揺れている。</li> <li>・ 「弓切り折り～面を向かふべからず」 →源氏のために、命を懸けて扇を射る決意をする与一。</li> <li>・ 「沖には平家～、陸には源氏～」 →敵からも味方からも注目されている。</li> </ul> <p>(2) 交流を通して、再度自分の考えをまとめる。</p>	5  10  10  8	<p>◎ 照応解決 「それでもまだ」の内容を明らかにすることで、与一から扇までの距離がかなりあることを確かめる。</p> <p>◇ 古文と向き合い、場面の状況や与一の心情を読み取るために、時刻や天候、「」の部分、対句表現等のキーワードを提示する。</p> <p>○ 「なぜ困難（容易）だと思えるのか」、叙述に即して読み取り、根拠を明らかにさせる。</p> <p>● 根拠を挙げて、与一の心情を文章で書くことができる。（ワークシート）</p> <p>◇ 本文の拡大コピーを準備し、与一の困難さが読み取れる表現にシールを貼ることで全員の考えを視覚的に捉えられるようにし、話し合いの焦点化を図る。</p> <p>○ 子どもの意見をつなげたり、問い返しをしたりすることで、考えを深められるようにする。</p> <p>◎ 推論 与一の決意の強さを読み取るために、「」の部分に着目させる。</p> <p>【発問】「なぜ、与一は『人に二度面を向かふべからず』と念じたのだろうか？」</p> <p>○ 全体で交流したあとで、自分の考えを再構築する場面を設定する。</p> <p>● 場面の状況を読み取り、人物の心情についてまとめることができる。（ワークシート・発表）</p>
振り返り	<p>4 本時のまとめをする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 与一にとっては悪条件が重なっていて、扇が定まらないことで相当なプレッシャーがかかっていた。</li> <li>・ 「何としてでも扇を射なければならない」という与一の気持ちは「弓切り折り～」の部分から強く感じる事ができ、命を懸けていたことがわかる。</li> </ul> </div> <p>5 振り返りをする。</p>	5  5	<p>○ ワークシートを折り返し、自分の初めと終わりの考えを比較し、新たに加わった言葉に赤線を引かせることで、自分の学びの深まりを実感させる。</p> <p>○ 次時の群読へつなげるため、ワークシートに本時で読み取った与一の心情をどのように表現したらよいか書かせたり、今後の古典の学習に生かしたいことを書かせたりする。</p>